



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 日本ガス株式会社(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)

上場取引所 東

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経財部長 (氏名) 宮本 英一

TEL 03-5308-2111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	26,749	3.6	2,135	52.3	2,240	48.0	1,646	43.5
29年3月期第1四半期	27,751	3.6	4,474	25.6	4,310	25.4	2,915	31.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,605百万円 (43.8%) 29年3月期第1四半期 2,854百万円 (16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	38.56	
29年3月期第1四半期	68.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	132,145	67,548	51.1
29年3月期	139,157	66,641	47.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 67,542百万円 29年3月期 66,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		17.00	34.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,300	5.0	1,500	68.4	1,600	65.4	1,000	67.8	23.42
通期	117,000	6.8	10,500	13.9	10,500	13.8	7,000	1.3	163.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	48,561,525 株	29年3月期	48,561,525 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	5,857,872 株	29年3月期	5,866,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	42,697,930 株	29年3月期1Q	42,686,648 株

(注)自己株式数については、役員報酬BIP信託が所有する当社株式(30年3月期1Q:271,137株、29年3月期:279,796株)を含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 需要家戸数等の推移	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のエネルギー業界は、2016年4月の電力小売り全面自由化に続く、2017年4月の都市ガス小売り全面自由化により、従来の地域独占や料金規制が撤廃され、大競争時代に突入いたしました。今後は業種の垣根を越えた合従連衡や、新たなイノベーションの創出が一層進むものと思われま

す。このような状況下での業容拡大を目指し当社グループは、2017年4月以降に販売する都市ガス全量の卸供給元を、東京電力エナジーパートナー株式会社に変更するとともに、お客様により安価なサービス提供を行うセット割料金メニュー「プレミアム5+プラン」を発表し、都市ガス小売自由化市場に参入いたしました。現在、初年度のお客様獲得目標11万軒の達成に向け、テレビCMやWeb広告等によるブランディング戦略により認知度向上に努めるとともに、当社グループの総力を挙げて営業活動を展開しております。なお、当第1四半期末時点での同市場におけるお客様獲得軒数は35千軒となりました。

また、当社グループが都市ガスの卸供給を受ける東京電力エナジーパートナー株式会社も2017年7月から都市ガス小売市場に参入いたしました。当社が、同社のガス保安業務を受託するなど、協力体制を整え、共にお客様獲得を進めて参ります。

今後は、両社の有するエネルギー事業に関する知見や機能を融合させ、日本最強のエネルギープラットフォームを構築し、人工知能やロボット、フィンテックなどの先進テクノロジーを組み込んだ、お客様に利便性の高いかつ効率的なサービスのラインナップ拡充に共同で取り組んで参ります。これにより、都市ガスをはじめとするエネルギー市場の活性化を目指すとともに、地域のエネルギー事業者や異業種から参入される新規事業者の皆様との連携を訴求し、協業による新たな地域貢献に邁進して参ります。

また、当社は、資本業務提携先であり最先端のICTとAI技術を有する株式会社メタップスとの共同開発で、お申込みから決済までをLINE上で完結することが出来るガス器具販売システムや、お客様のスマホでガス料金のクレジット決済や口座振替登録ができる、Web決済システムを開発し運用しております。これらのペーパーレスオペレーションによって、お客様のサービス受益ストレスを解消し、迅速で利便性の高いサービスの提供が可能となりました。

当社のこうした企業価値向上のための戦略的なIT活用とその成果が評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「攻めのIT経営銘柄2017」に2年連続で選ばれております。

今後、先進テクノロジーの活用によるシステム開発を推進し、お客様の利便性向上に努めて参ります。

なお、当第1四半期末の当社グループのお客様数は、前年同期末に比べ84千軒増の1,247千軒と順調に増加しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、お客様数の順調な伸びに伴いガス売上高は前年同期に比べ増加いたしました。大型空調機器販売の減少とカセットボンベ事業の廃業等で、機器工事他の売上高が減少したこと等により267億4千9百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

利益面につきましては、減収に伴う売上総利益の減少に加え、自由化市場での需要開発を目的とした広告宣伝費等の増加があり、営業利益は21億3千5百万円（前年同期比52.3%減）、経常利益は22億4千万円（同48.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億4千6百万円（同43.5%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

[LPガス事業]

LPガス事業におきましては、ガス販売量はお客様数の順調な伸びに伴い増加いたしました。カセットボンベ事業を廃業したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は156億2千1百万円と前年同期に比べ5億7千7百万円（前年同期比3.6%減）の減収となりました。

[都市ガス事業]

都市ガス事業におきましては、ガス販売量は、LPガス事業と同様の理由で前年同期に比べ増加いたしました。大型空調機器販売が前年同期に比べ減少したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は111億2千7百万円と前年同期に比べ4億2千4百万円（前年同期比3.7%減）の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ70億1千1百万円（5.0%減）減少し、1,321億4千5百万円となりました。これは主に、季節的要因により現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ79億1千8百万円（10.9%減）減少し、645億9千6百万円となりました。これは主に、返済が進んだことにより借入金が減少したことと、季節的要因により支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ9億6百万円（1.4%増）増加し、675億4千8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いによる利益剰余金の増減を反映したものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.2ポイント向上し、51.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年度については、自由化された都市ガス小売市場での顧客基盤の拡充等によるガス販売高の伸張とガス機器の普及・拡大により、連結売上高は平成28年度に対し6.8%増の1,170億円になる見通しです。

利益面については、原料価格の上昇に加え、都市ガス自由化への先行投資や需要開発費用の大幅な増加を予定し、営業利益は13.9%減の105億円、経常利益は13.8%減の105億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1.3%増の70億円になる見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,418	27,926
受取手形及び売掛金	6,708	4,811
商品及び製品	4,639	3,620
仕掛品	18	75
原材料及び貯蔵品	100	178
繰延税金資産	504	400
その他	871	1,050
貸倒引当金	△125	△135
流動資産合計	44,134	37,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,323	9,385
機械装置及び運搬具(純額)	35,484	35,037
工具、器具及び備品(純額)	1,031	1,020
土地	24,594	24,593
リース資産(純額)	2,153	1,992
建設仮勘定	761	630
有形固定資産合計	73,349	72,658
無形固定資産		
のれん	3,824	3,620
その他	3,598	3,889
無形固定資産合計	7,422	7,510
投資その他の資産		
投資有価証券	5,823	5,628
その他	8,912	8,903
貸倒引当金	△485	△482
投資その他の資産合計	14,250	14,049
固定資産合計	95,022	94,219
資産合計	139,157	132,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,145	4,525
電子記録債務	4,373	3,354
短期借入金	15,976	13,893
未払法人税等	2,360	704
賞与引当金	434	404
その他	6,392	6,128
流動負債合計	36,683	29,011
固定負債		
長期借入金	29,013	29,359
株式報酬引当金	279	287
ガスホルダー修繕引当金	354	377
製品自主回収関連損失引当金	825	501
退職給付に係る負債	2,410	2,354
その他	2,948	2,704
固定負債合計	35,831	35,585
負債合計	72,515	64,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	15,724	15,724
利益剰余金	50,899	51,815
自己株式	△8,853	△8,821
株主資本合計	64,840	65,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,564	1,493
為替換算調整勘定	249	277
退職給付に係る調整累計額	△19	△17
その他の包括利益累計額合計	1,795	1,753
非支配株主持分	6	6
純資産合計	66,641	67,548
負債純資産合計	139,157	132,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	27,751	26,749
売上原価	13,208	12,746
売上総利益	14,543	14,002
販売費及び一般管理費	10,068	11,867
営業利益	4,474	2,135
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	38	30
不動産賃貸料	8	11
受取保険金	7	68
その他	73	96
営業外収益合計	136	217
営業外費用		
支払利息	98	90
持分法による投資損失	70	21
為替差損	116	0
その他	14	0
営業外費用合計	300	112
経常利益	4,310	2,240
特別利益		
固定資産売却益	1	5
投資有価証券売却益	-	272
特別利益合計	1	277
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	17	16
その他	0	-
特別損失合計	17	17
税金等調整前四半期純利益	4,293	2,500
法人税、住民税及び事業税	1,132	632
法人税等調整額	243	220
法人税等合計	1,376	853
四半期純利益	2,916	1,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,915	1,646

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,916	1,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	△70
退職給付に係る調整額	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	62	27
その他の包括利益合計	△62	△41
四半期包括利益	2,854	1,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,853	1,604
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第1四半期連結累計期間 (29.4.1～29.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (28.4.1～28.6.30)
LPガス事業(百万円)	15,621	16,199
都市ガス事業(百万円)	11,127	11,552
合計(百万円)	26,749	27,751

2) LPガス事業の販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (29.4.1～29.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (28.4.1～28.6.30)
ガス(百万円)	13,725	12,621
機器、受注工事他(百万円)	1,895	3,577
合計(百万円)	15,621	16,199

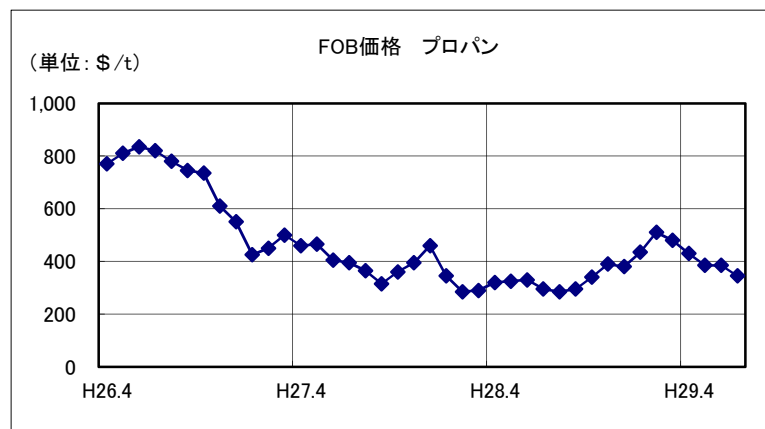
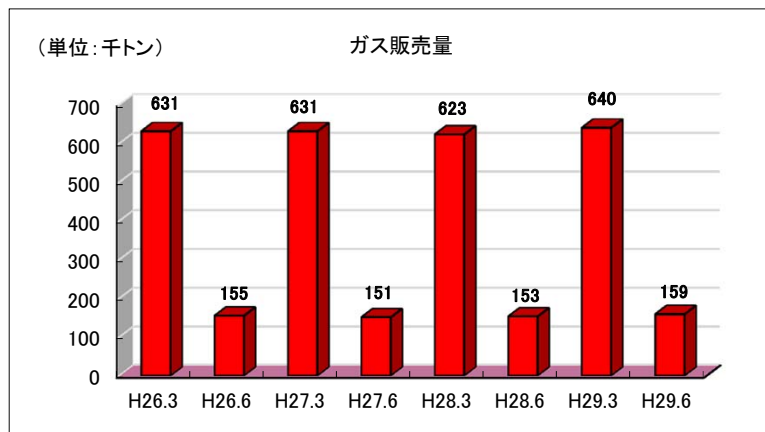
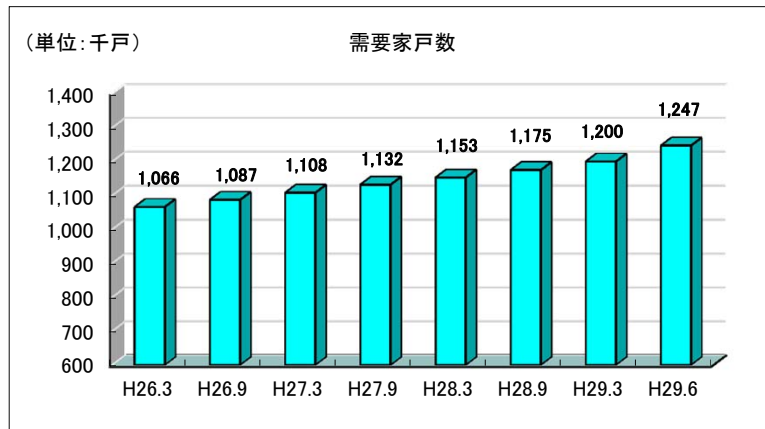
3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (29.4.1～29.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (28.4.1～28.6.30)
ガス(百万円)	8,869	8,609
機器、受注工事他(百万円)	2,258	2,942
合計(百万円)	11,127	11,552

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

(2) 需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。